

# 日東工業株式会社

## 2021年3月期 第2四半期決算説明会（説明内容）

---

### 【概要】

日 時：2020年12月1日（火）15：00～16：00

形 式：ZOOM ウェビナー

|              |             |       |
|--------------|-------------|-------|
| 登壇者：日東工業株式会社 | 取締役社長 COO   | 黒野 透  |
|              | 取締役 営業本部長   | 里 康一郎 |
|              | 取締役 経営管理本部長 | 手嶋 晶隆 |
|              | 総務部         | 真野 貴明 |

---

# プレゼンテーション

皆さん、こんにちは。私は、取締役社長 COO の黒野透でございます。

本日は、大変お忙しい中、日東工業株式会社、2021年3月期第2四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より皆様方には日東工業に対しまして、ご指導ご鞭撻を賜り、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

さて、本日の説明会は、会場および Web での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、Web 開催のみとさせていただきます。開催間際での変更となりましたことをご詫言申し上げます。

本日は、日東工業のホームページにアップしていますパワーポイントの決算説明会資料に沿ってご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

## 目次

2021年3月期  
第2四半期

### 1 2021年3月期 第2四半期決算概要

### 2 トピックス

・新型コロナウイルス感染症の影響

・GIGAスクール構想への取り組み

・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

### 3 通期連結業績予想

### 4 中期経営計画

### 5 参考資料

本日の目次となります。1 から 4 の項目についてご説明をさせていただきます。5 に関しては、参考資料となりますので、後ほどご覧ください。

## 第2四半期 連結決算ハイライト

2021年3月期  
第2四半期

- 2021年3月期 第2四半期業績は減収増益
- 売上高は、コロナ禍の影響などにより減収となるも、期首計画を上回る
- 5G関連やGIGAスクール構想案件の売上が好調に推移
- 日東工業単体の変動費率改善や固定費減少、情報通信関連流通事業の売上増加が増益に寄与

(単位：百万円)

| 決算期                  | 2020/3 | 2021/3 |        |              |            |
|----------------------|--------|--------|--------|--------------|------------|
|                      | 2Q実績   | 2Q計画   | 2Q実績   | 前年同期比<br>増減率 | 計画比<br>増減率 |
| 売上高                  | 64,887 | 59,700 | 63,443 | △2.2%        | +6.3%      |
| 営業利益                 | 5,072  | 2,600  | 5,078  | +0.1%        | +95.3%     |
| 経常利益                 | 4,852  | 2,500  | 5,219  | +7.6%        | +108.8%    |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 3,124  | 1,300  | 3,255  | +4.2%        | +150.5%    |

2021年3月期第2四半期、連結決算ハイライトです。

売上高は634億円で、前年同期比マイナス2.2%。利益項目につきましては、全て前年同期を上回り、減収増益となりました。

売上高は、コロナ禍の影響などにより減収となりましたが、5G関連やGIGAスクール構想案件の売上が好調に推移したことにより、期首の計画は上回っております。

増益要因としては、日東工業単体の変動費率の改善や固定費の減少、および好調である情報通信関連流通事業の売上増加が寄与したものでございます。詳細は後ほどご説明させていただきます。



日東工業グループの四つの事業セグメントを簡単にご紹介させていただきます。

下段中央に青い部分がございますが、この配電盤関連製造事業、こちらは日東工業と約 20 社の連結子会社で、配電盤、制御盤、高圧受電設備などの設計、製造、販売を行っています。それとともに、配電盤に使用しますキャビネット、遮断器などを製造、販売する日東工業グループのコア事業でございます。

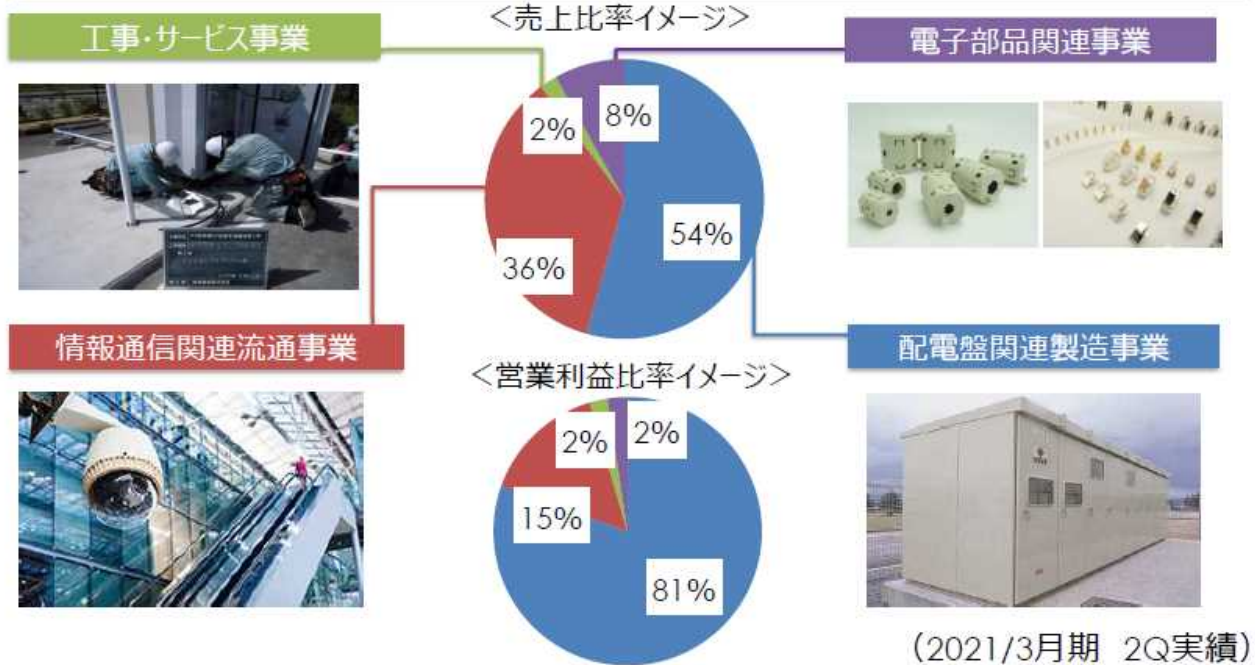
そのコア事業の周辺領域である赤色の部分、情報通信関連流通事業は、サンテレホンおよびその子会社にて LAN ケーブルや監視カメラなどの情報通信機器および部材を仕入れ、販売する事業です。

左上の工事・サービス事業は、南海電設にて情報通信ネットワーク、電気設備の設置、保守などの工事を行う事業となっております。

右上の電子部品関連事業は、北川工業およびその子会社にて、電磁波環境コンポーネント、精密エンジニアリングコンポーネントの製造、販売を行う専門性の高い事業となっております。

日東工業グループは、電気と情報に関わる四つの事業が互いに連携し合い、成長しています。

## 配電盤関連製造事業が売上の約5割、利益の約8割を占める



四つの事業セグメントの売上および利益構成です。

コア事業である、配電盤関連製造事業は、連結売上の約 54%、連結営業利益の約 81%を占めています。

情報通信関連流通事業は、連結売上高の約 36%、連結営業利益の約 15%と、商社のため利益率は低いですが、今後期待できる事業セグメントと考えています。

工事・サービス事業は、連結売上、連結営業利益ともに約 2%を占め、また、電子部品関連事業は、連結売上の約 8%、連結営業利益の約 2%を占めています。

## 第2四半期 セグメント別 決算ハイライト

2021年3月期  
第2四半期

- 配電盤関連製造事業は、5G関連の設備投資に伴い一部製品の売上増加。しかし、コロナ禍の影響による売上減少や前期計上の学校空調に関連した製品の売上剥落により減収。一方、市場価格の改善や人件費・経費等の減少により増益
- 情報通信関連流通事業は、5G関連やGIGAスクール構想案件、テレワーク商材の売上が好調に推移し増収増益
- 工事・サービス事業は、感染予防のためのオフィスレイアウト変更やテレワーク対応案件の売上が増加したほか、外部委託費が縮小したことなどにより増収増益
- 電子部品関連事業は、欧州向けの人工呼吸器に用いられるEMC対策製品の売上増加。しかし、国内外の自動車関連市場や海外の業務用エアコン、OA機器等に用いられる各種製品の売上減少により減収減益

|      | セグメント別     | 2020/3 |        | 2021/3 |              |            |
|------|------------|--------|--------|--------|--------------|------------|
|      |            | 2Q実績   | 2Q計画   | 2Q実績   | 前年同期比<br>増減率 | 計画比<br>増減率 |
| 売上高  | 配電盤関連製造事業  | 39,557 | 35,100 | 34,521 | △12.7%       | △1.6%      |
|      | 情報通信関連流通事業 | 18,074 | 18,300 | 22,498 | +24.5%       | +22.9%     |
|      | 工事・サービス事業  | 1,257  | 900    | 1,273  | +1.2%        | +41.4%     |
|      | 電子部品関連事業   | 5,997  | 5,400  | 5,150  | △14.1%       | △4.6%      |
|      | 合計         | 64,887 | 59,700 | 63,443 | △2.2%        | +6.3%      |
| 営業利益 | 配電盤関連製造事業  | 3,896  | —      | 4,085  | +4.8%        | —          |
|      | 情報通信関連流通事業 | 385    | —      | 759    | +97.0%       | —          |
|      | 工事・サービス事業  | 59     | —      | 109    | +84.1%       | —          |
|      | 電子部品関連事業   | 723    | —      | 122    | △83.1%       | —          |
|      | 合計         | 5,072  | 2,600  | 5,078  | +0.1%        | +95.3%     |

**NTO** 日東工業株式会社

7

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

セグメント別決算ハイライトでございます。数値は既にご覧のこととしますので、トピックスのみをお話させていただきます。

配電盤関連製造事業は、後ほど詳しくご説明いたします。

情報通信関連流通事業は、5G 関連や GIGA スクール構想案件、また、テレワーク商材などの売上が好調に推移し、増収増益となりました。

工事・サービス事業は、コロナウイルス感染予防のためのオフィスレイアウトの変更や、テレワーク関連案件の売上が増加いたしました。また、外部委託費が縮小したことなどにより、増収増益となりました。

電子部品関連事業は、ヨーロッパ向けの人工呼吸器に用いられる EMC 対策製品の売上が増加しましたが、国内外の自動車関連市場や海外の業務用エアコン、OA 機器等に用いられる各種製品の売上減少により、減収減益となりました。

## 第2四半期 配電盤関連製造事業（部門別売上高）

2021年3月期  
第2四半期

- ・ コロナ禍の影響による売上減少や前年同四半期計上の学校空調に関連した製品の売上剥落により減収となったほか、内部売上消去が想定以上となったことから計画を下回る結果となる
- ・ 5G関連の設備投資に伴い、配電盤部門やキャビネット部門の一部製品の売上増加
- ・ 遮断器・開閉器部門は、海外子会社であるエレット（タイランド）のブレーカ等の売上増加

| 部門別<br>売上高    |         | 2020/3            | 2021/3 |                   |                    |            |
|---------------|---------|-------------------|--------|-------------------|--------------------|------------|
|               |         | 2Q実績              | 2Q計画   | 2Q実績              | 前年同期比<br>増減率       | 計画比<br>増減率 |
| 配電盤関連<br>製造事業 | 配電盤     | 22,319            | 18,400 | 18,580            | △16.7%             | +1.0%      |
|               | キャビネット  | 11,420            | 11,200 | 10,397            | △9.0%              | △7.2%      |
|               | 遮断器・開閉器 | 2,520             | 2,400  | 2,674             | +6.1%              | +11.4%     |
|               | パーツ・その他 | 3,297             | 3,100  | 2,869             | △13.0%             | △7.5%      |
| 合計            |         | 39,557<br>(1,974) | 35,100 | 34,521<br>(3,666) | △12.7%<br>(+85.7%) | △1.6%      |
| 連結全体合計        |         | 64,887            | 59,700 | 63,443            | △2.2%              | +6.3%      |
| 連結売上構成比       |         | 61.0%             | 58.8%  | 54.4%             | △6.6%              | △4.4%      |

※（）内はセグメント間の内部売上高

当社グループのコア事業である配電盤関連製造事業の部門別売上高です。トピックスとして、3点をご報告いたします。

コロナ禍の影響や前年同四半期計上の学校空調に関連した製品の売上が剥落したことにより、減収となりました。また、内部売上消去が想定以上となったことから、計画を下回る結果となっております。合計欄の括弧内の数字が内部取引額で、昨年よりも約17億円増加しています。

5G関連の設備投資に伴い、配電盤部門やキャビネット部門の一部製品の売上が増加をいたしました。

また、遮断器・開閉器部門のみ前年同期比プラスになっておりますが、海外子会社であるエレット（タイランド）、こちらのブレーカーなどの売上が増加したためでございます。

## 第2四半期 連結営業利益の増減要因（前年同期比）

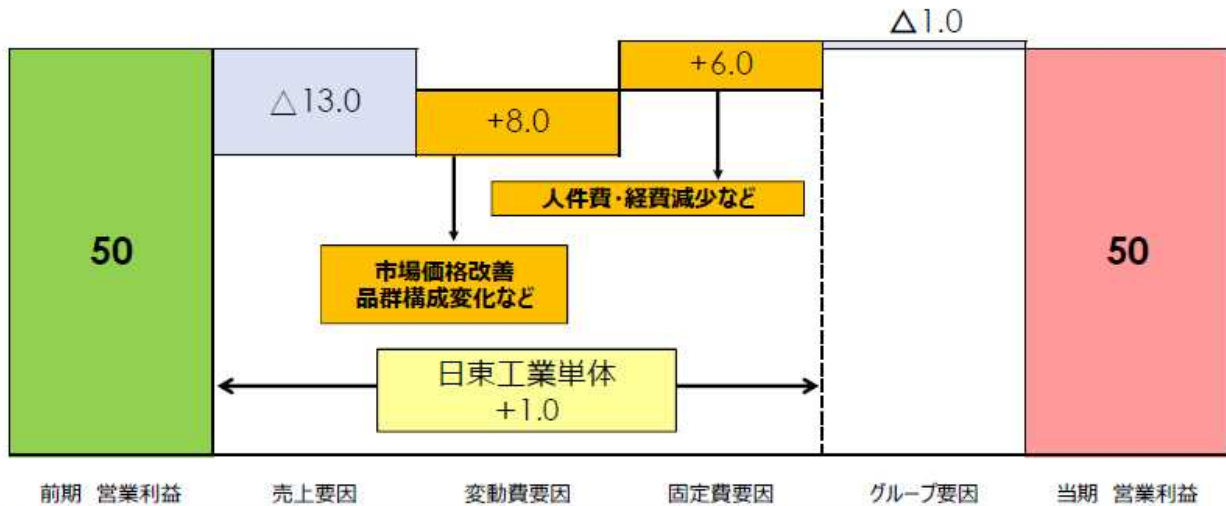
2021年3月期  
第2四半期

- ・ 日東工業単体要因では、売上減少により限界利益は減少するも、市場価格の改善（変動費要因）や人件費・経費等の減少により増益となる
- ・ グループ要因では、サンテレホンや新愛知電機製作所が増益となるも、コロナ禍の影響により北川工業グループやその他子会社が減益となったことからグループ全体としては微減となる

（単位：億円）

【2020/3月期 2Q実績】

【2021/3月期 2Q実績】



**NTO** 日東工業株式会社

9

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

連結の営業利益について、前年同期との比較となります。

営業利益は、前期 50 億円、今期も 50 億円で、横ばいとなりました。黄色の部分である、日東工業単体の要因はプラス 1 億円で、その内訳としては、売上減少による限界利益の減少でマイナス 13 億円。市場価格の改善や利益率の多い商品群の売上増加により、プラス 8 億円。残業を含む人件費や経費の減少により、プラス 6 億円となりました。

グループ要因といたしましては、情報通信関連流通事業は売上好調によりプラスにはなりましたが、コロナ禍の影響により、売上が減少した電子部品関連事業および海外事業で減益となり、マイナス 1 億円となりました。



## 第2四半期 連結営業利益の増減要因（期首計画比）

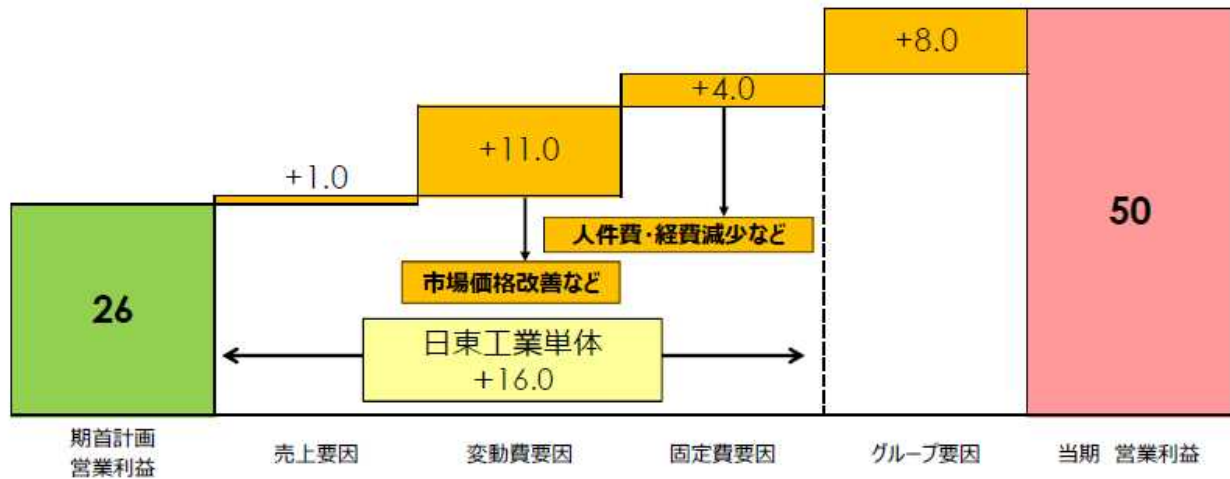
2021年3月期  
第2四半期

- ・ 日東工業単体要因では、コロナ禍の影響から市場価格が下落する（変動費要因）想定であったものの前年度末の水準を維持したことや人件費・経費等の減少が想定以上となったことなどが利益を押し上げる結果となる
- ・ グループ要因では、サンテレホンや南海電設、新愛知電機製作所の増益が計画を上回る結果となる

（単位：億円）

【2021/3月期 2Q期首計画】

【2021/3月期 2Q実績】



こちらは、連結の営業利益について、期首計画との比較になります。

営業利益の期首計画は26億円、実績は50億円と大きく上回りました。黄色の部分である日東工業単体の要因は、プラス16億円となりました。コロナ禍の影響から、市場価格が下落する想定をしていましたが、前年度末の水準をある程度維持したことや、人件費・経費の減少が想定以上になったことなどが利益を押し上げる結果となっております。

グループ要因としましては、プラス8億円となりました。サンテレホンや、南海電設、新愛知電機製作所の増益により、計画を上回る結果となっております。

# 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2021年3月期  
第2四半期

(単位：百万円)

| 2020/3 2Q                  |         |
|----------------------------|---------|
| 現金及び現金同等物の期首残高             | 38,934  |
| 営業活動によるキャッシュフロー            | 5,929   |
| 投資活動によるキャッシュフロー            | 7,152   |
| 財務活動によるキャッシュフロー            | △17,912 |
| 現金及び現金同等物にかかる換算差額          | △138    |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 96      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高           | 34,061  |

| 2021/3 2Q                  |        |
|----------------------------|--------|
| 現金及び現金同等物の期首残高             | 29,620 |
| 営業活動によるキャッシュフロー            | 4,755  |
| 投資活動によるキャッシュフロー            | △1,536 |
| 財務活動によるキャッシュフロー            | △3,130 |
| 現金及び現金同等物にかかる換算差額          | △95    |
| 非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | -      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高           | 29,613 |

## <2020/3 2Q 主な要因>

|                   |         |
|-------------------|---------|
| ■ 投資活動によるCF       |         |
| ・定期預金の払い戻しによる収入   | 5,204   |
| ・投資有価証券の売却及び償還    | 3,891   |
| ・固定資産の取得による支出     | △1,628  |
| ■ 財務活動によるCF       |         |
| ・北川工業完全子会社化のための支出 | △10,582 |
| ・短期借入金の減少         | △6,656  |

## <2021/3 2Q 主な要因>

|                 |        |
|-----------------|--------|
| ■ 投資活動によるCF     |        |
| ・定期預金の払い戻しによる収入 | 836    |
| ・固定資産の取得による支出   | △2,643 |
| ■ 財務活動によるCF     |        |
| ・短期借入金の減少       | △1,687 |
| ・配当金の支払額        | △1,415 |

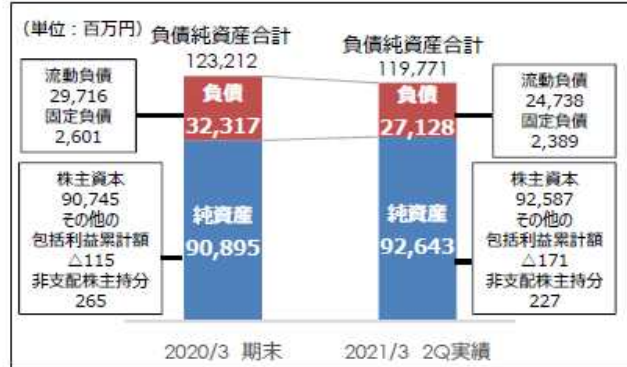
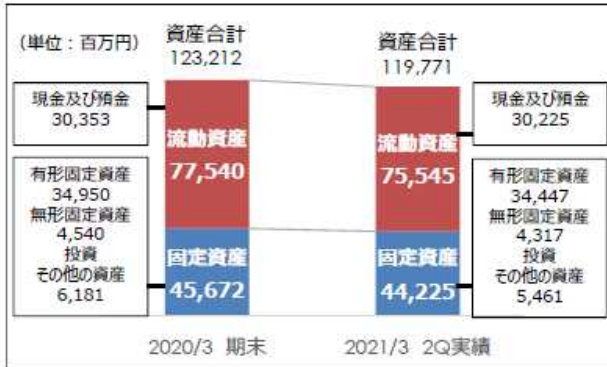
連結キャッシュ・フロー計算書です。左側が2020年3月期第2四半期、右側が2021年3月期第2四半期でございます。

2020年3月期は、北川工業の子会社化による投資および財務活動のキャッシュ・フローが大きく動きました。2021年3月期は、前年同期と比べ大きなトピックスはございません。

## 第2四半期 連結財政状態の概要

2021年3月期  
第2四半期

- 受取手形及び売掛金が減少したことにより総資産が減少しているものの、大きな変動無し



### <主な増減内容>

|               |        |        |
|---------------|--------|--------|
| <b>■ 資産</b>   |        |        |
| ・受取手形及び売掛金の減少 | △4,220 |        |
| ・商品及び製品の増加    | +1,429 |        |
| <b>■ 負債</b>   |        |        |
| ・短期借入金        |        | △1,691 |
| ・未払法人税等の減少    |        | △1,289 |
| <b>■ 純資産</b>  |        |        |
| ・四半期純利益       |        | +3,255 |
| ・剰余金の配当       |        | △1,418 |

連結財政状態の概要でございます。

資産は、受取手形および売掛金が減少したことにより減少していますが、大きな変動はありませんでした。負債に関しても同様となっております。

## 1 2021年3月期 第2四半期決算概要

## 2 トピックス

・新型コロナウイルス感染症の影響

・GIGAスクール構想への取り組み

・5G（次世代移動通信システム）への取り組み

## 3 通期連結業績予想

## 4 中期経営計画

## 5 参考資料

次に、トピックスとして3点を報告させていただきます。

# 新型コロナウイルス感染症の影響

2021年3月期  
第2四半期

【2021年3月期】

＜期首想定＞ 当第2四半期以降、経済活動の停滞が緩やかに回復



＜修正後想定＞ 当**第3四半期**以降、経済活動の停滞は**横ばいで推移**

| 部門                     | 業績への影響が懸念される事項  | 影響度 |
|------------------------|---|-----|
| 配電盤関連製造事業<br>工事・サービス事業 | ＜マイナス要因＞<br>民間非居住建築物棟数の減少や民間設備投資の腰折れ、ゼネコンの建設工事遅延など。ただし、過去のトレンドから、 <b>需要減の当業界への波及は半年前後遅れてくる</b> と想定している。 | 大   |
| 情報通信関連<br>流通事業         | ＜マイナス要因＞<br>データセンターやオフィス移転関連市場の停滞など<br>＜プラス要因＞<br>テレワーク需要の高まり   | 小   |
| 電子部品関連事業               | ＜マイナス要因＞<br>自動車関連、工作機械、OA機器市場の停滞など  | 中   |

まずは、新型コロナウイルス感染症による影響です。日東工業グループの期首想定は、第2四半期以降、経済活動の停滞が緩やかに回復するという条件で設定していました。

しかし、昨今の状況により、第3四半期以降、経済活動の停滞が横ばいで推移するという厳しい見方に変更しております。

配電盤関連製造事業および工事・サービス事業は、民間非居住建築物棟数の減少や民間設備投資の腰折れ、ゼネコンの建設工事の遅延などから、業績への影響は大きいと考えています。ただし、当業界への波及はやや遅れており、今後の不透明感が増しております。

情報通信関連流通事業は、データセンターなどに停滞はありましたが、テレワーク需要の高まりなどにより、プラス要因もあると考えております。

また、電子部品関連事業は自動車関連市場が回復基調にありますが、工作機械やOA機器市場に関しては、まだ停滞が続くと考えております。

# GIGAスクール構想への取り組み

2021年3月期  
第2四半期

GIGAスクール構想に関連する製商品の拡販に努め、約100億円の売上獲得を目指す

- 文部科学省2020.3調査※より
- ・ 学校数：約33,000校
- ・ 教室数：約380,000室（小・中学校）

※令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果

売上のピークは  
2021年3月期下期を想定

| セグメント      | ターゲット市場規模     | 売上目標  |
|------------|---------------|-------|
| 配電盤関連製造事業  | (当社想定) 約900億円 | 100億円 |
| 情報通信関連流通事業 |               |       |

GIGAスクール構想で用いられる当社製商品（例）

| 機器収納キャビネット  | タブレット保管庫  | その他                          |
|---|---|------------------------------|
|  |  | ・LANケーブル<br>・ネットワーク部材<br>etc |

参考：<GIGAスクール構想> 子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けた取り組み  
～児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備～

**NITO** 日東工業株式会社

15

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

GIGA スクール構想への取り組みとなります。

日東工業グループの想定では、GIGA スクール案件の市場規模は約 900 億円と見ております。ハブを収納する機器収納キャビネットやタブレット保管庫、LAN ケーブルなどで、当社グループは約 100 億円の売上獲得を目指しております。

# 5G（次世代移動通信システム）への取り組み

2021年3月期  
第2四半期

5G整備に必要な製商品の拡販に向け、積極的な営業活動を展開中

携帯電話基地局等で用いられる当社製商品（例）

＜全般＞  
LANケーブル、ネットワーク部材等

|  |   |
|--|---|
| <b>屋外基地局</b><br><br>配・分電盤、キャビネット等 | <b>屋内（ビル等）</b><br><br>システムラック<br>配・分電盤<br>光接続箱等 |
| <b>2021年3月期 売上目標</b><br><b>約50億円</b><br><b>当期売上のピークは</b><br><b>2-3Qを想定</b>   | <b>屋内（データセンター）</b><br><br>システムラック等             |

**NTO** 日東工業株式会社

16

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

次に、5G への取り組みになります。グループにおける 5G 関連商材は、屋外基地局では配・分電盤やキャビネットが、また、屋内のビルやデータセンターには、システムラックや光接続箱が採用されています。

2021 年 3 月期の売上目標は、約 50 億円としています。2021 年 3 月期での 5G 案件の売上ピークは、第 2、第 3 四半期となりますが、来期以降継続するものと考えております。

# 通期 連結業績予想

2021年3月期  
第2四半期

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞が、第3四半期以降横ばいで推移という前提で試算
- ・ 通期連結業績は減収減益を計画、ただし期首計画は上方修正
- ・ 前期の特需案件であった学校空調に関連した製品の売上剥落もマイナス要因

| 決算期                     | 2020/3 |         | 2021/3 (単位：百万円) |              |               |               |            |               |
|-------------------------|--------|---------|-----------------|--------------|---------------|---------------|------------|---------------|
|                         | 2Q実績   | 通期実績    | 2Q実績            | 前年同期比<br>増減率 | 通期計画<br>(修正前) | 通期計画<br>(修正後) | 前期比<br>増減率 | 修正前計画<br>比増減率 |
| 売上高                     | 64,887 | 139,421 | 63,443          | △2.2%        | 129,000       | 132,000       | △5.3%      | +2.3%         |
| 営業利益                    | 5,072  | 12,402  | 5,078           | +0.1%        | 7,700         | 9,600         | △22.6%     | +24.7%        |
| 経常利益                    | 4,852  | 12,038  | 5,219           | +7.6%        | 7,500         | 9,700         | △19.4%     | +29.3%        |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 3,124  | 8,048   | 3,255           | +4.2%        | 4,700         | 6,200         | △23.0%     | +31.9%        |

通期連結業績の予想となります。

繰り返しとなりますが、2021年3月期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響が、当第3四半期以降横ばいで推移するという前提条件で試算しております。

通期修正後の連結売上は1,320億円、前期比マイナス5.3%。営業利益は96億円、前期比マイナス22.6%。経常利益は97億円、前期比マイナス19.4%。純利益は62億円で、前期比マイナス23%を見込んでおり、減収減益となります。しかしながら、期首の計画からは、全項目で上方修正しております。

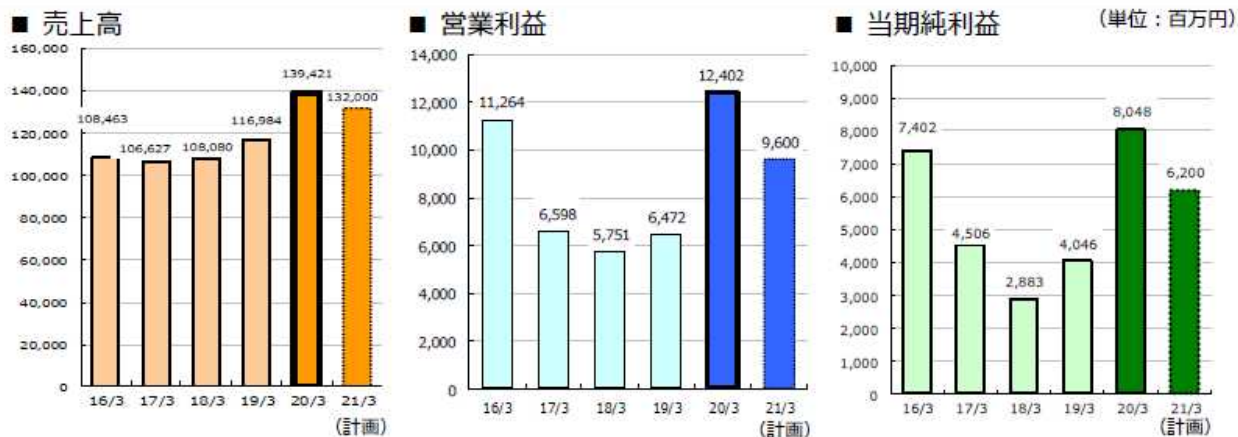
マイナス要因の主なものとしては、前期の特需案件であった学校空調に関連した製品の売上剥落などがあります。



# 過去5年 連結経営成績

2021年3月期  
第2四半期

- 2021年3月期期首計画を上方修正
- 2021年3月期は、新型コロナウイルスの影響から減収減益を見込む



|       | 16/3    | 17/3    | 18/3    | 19/3    | 20/3    | 21/3 (計画) |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 売上高   | 108,463 | 106,627 | 108,080 | 116,984 | 139,421 | 132,000   |
| 営業利益  | 11,264  | 6,598   | 5,751   | 6,472   | 12,402  | 9,600     |
| 当期純利益 | 7,402   | 4,506   | 2,883   | 4,046   | 8,048   | 6,200     |

過去5年間の連結業績となっております。

2020年3月期の売上高、当期純利益は、過去最高でございました。2021年3月期の期首計画は、上方修正いたしましたが、前期比では減収減益を見込んでいます。

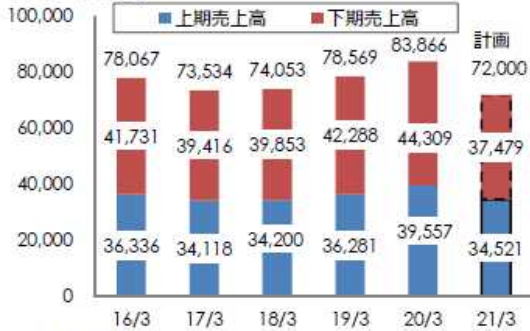
修正後の計画を達成しますと、売上高は過去2番目、利益項目に関しましては過去5番目となります。

# 業績予想 セグメント別（配電盤関連製造事業）

2021年3月期  
第2四半期

## ◆配電盤関連製造事業 【通期予想】売上高 72,000百万円（前期比 △14.1%）

（単位：百万円）



### 【通期予想】

・新型コロナウイルス感染拡大防止による経済活動の停滞や学校空調関連の特需剥落により減収を見込む

### 【取り組み】

・GIGAスクール構想や5G関連市場での製品提案活動  
・Gathergates社の収益性を重視した営業活動や生産コスト削減、NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTDの工場建設

### 【主要グループ会社：通期見通し】

|    | 会社名                               | 売上<br>(前期比) | 営業<br>利益 | グループ利益<br>影響度 |
|----|-----------------------------------|-------------|----------|---------------|
| 国内 | 日東工業㈱                             | ☔           | ☁        | 大             |
|    | ㈱新愛知電機製作所                         | ☔           | ☁        | 小             |
|    | ㈱大洋電機製作所                          | ☔           | ☔        | 小             |
|    | ㈱E C Aソリューションズ                    | ☔           | ☔        | 小             |
| 海外 | 日東工業（中国）有限公司                      | ☁           | ☁        | 小             |
|    | Gathergates Group Pte Ltd         | ☔           | ☔        | 小             |
|    | NITTO KOGYO BM (THAILAND) CO.,LTD | ☔           | ☔        | 小             |

（単位：百万円）



**NITTO 日東工業株式会社**

20

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

セグメント別の業績予想となります。

まずは、配電盤関連製造事業ですが、通期予想の売上高は 720 億円、前期比マイナス 14.1%を見込んでいます。減収要因は、新型コロナウイルス感染症による経済の停滞と昨年度の特需の剥落でございます。

具体的な取り組みとしては、GIGA スクール案件、5G 案件、そういったところにソリューション営業をかけ、売上を強化していくこと。

また、海外子会社である Gathergates 社においては、収益性を重視した営業活動およびコスト低減活動を強化していきたいと思っております。NITTO KOGYO BM (THAILAND)、こちらは工場建設を行っております。

このような施策により、コスト低減や売上向上を目指してまいりたいと思っております。

# 業績予想 セグメント別（情報通信関連流通事業）

2021年3月期  
第2四半期

## ◆情報通信関連流通事業 【通期予想】売上高 47,400百万円（前期比 +16.3%）

（単位：百万円）



### 【通期予想】

- ・5G関連やGIGAスクール構想関連の売上増加のほか、テレワーク関連商材の売上増加により増収を見込む
- ・子会社化したベトナムのSOECOも増収に寄与

### 【取り組み】

- ・GIGAスクール構想に関連する案件獲得活動
- ・5G関連市場での案件獲得活動

（単位：百万円）



### 【主要グループ会社：通期見通し】

|    | 会社名     | 売上<br>(前期比) | 営業<br>利益 | グループ利益<br>影響度 |
|----|---------|-------------|----------|---------------|
| 国内 | サンテレホン㈱ | ☀️          | ☀️       | 中             |
| 海外 | SOECO   | —           | —        | 小             |

※本セグメントは、サンテレホン㈱及びその子会社のみ  
 ※2020年3月期に、サンテレホン㈱がSOECOを子会社化  
 (PL連結は2021年3月期より)

次に、情報通信関連流通事業の業績予想ですが、通期の売上高は474億円、前期比プラス16.3%を見込んでいます。5G案件やGIGAスクール案件の売上が増加するほか、テレワーク関連商材の売上増加による増収を見込んでいます。さらには、昨年より子会社化したベトナムのSOECO社、こちらも増収に寄与しております。取り組みとしては、GIGAスクール案件、テレワーク関連、5G関連市場での案件獲得に注力してまいります。

# 業績予想 セグメント別（工事・サービス事業）

2021年3月期  
第2四半期

## ◆工事・サービス事業 【通期予想】売上高 2,600百万円（前期比 △8.0%）

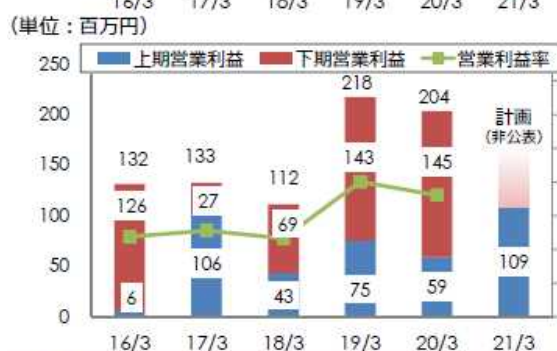


### 【通期予想】

・コロナ対策のためのレイアウト変更等、オフィス関連需要は伸長するも、オリンピック・パラリンピック延期や工事遅延等により減収を見込む

### 【取り組み】

・日東工業との連携を強化し、更なるシナジーの創出に注力  
・GIGAスクール構想に向けた取り組みや防災関連機器の保守・メンテナンス事業の推進、拡大



### 【主要グループ会社：通期見通し】

|    | 会社名   | 売上<br>(前期比) | 営業<br>利益 | グループ利益<br>影響度 |
|----|-------|-------------|----------|---------------|
| 国内 | 南海電設機 |             |          | 小             |

※本セグメントは南海電設機のみ

工事・サービス事業の業績予想ですが、通期の売上高は26億円、前期比マイナス8%を見込んでいます。

コロナ対策のためのレイアウト変更やオフィス関連需要は伸長を見込んでいますが、オリンピック・パラリンピック延期による工事の遅延などにより、減収を見込んでいます。

取り組みといたしましては、グループ企業との連携を強化し、シナジーの創出に注力したいと思っております。

また、GIGAスクール案件や防災関連機器の保守、メンテナンス事業を強化し、売上アップを目指してまいります。

# 業績予想 セグメント別（電子部品関連事業）

2021年3月期  
第2四半期

## ◆電子部品関連事業 【通期予想】売上高 10,000百万円（前期比 △16.3%）



【通期予想】  
・自動車関連市場の売上減少や好調であった業務用エアコンに関連した製品の売上減少などにより減収を見込む

【取り組み】  
・EV・HV・PHEV等の環境自動車市場への電磁波対策部品を軸としたソリューション製品提案  
・5G関連市場での事業拡大（通信基地局、WIFI製品）



### 【主要グループ会社：通期見通し】

|    | 会社名   | 売上<br>(前期比) | 営業<br>利益 | グループ利益<br>影響度 |
|----|-------|-------------|----------|---------------|
| 国内 | 北川工業㈱ | ☔           | ☁        | 中             |

※本セグメントは北川工業㈱およびその子会社のみ

電子部品関連事業の業績ですが、通期の売上高は100億円、前期比マイナス16.3%を見込んでいます。

自動車関連市場は回復基調にありますが、業務用エアコンの市場などと併せて、減収を見込んでおります。

取り組みといたしましては、EV・HV・PHEVなどの環境自動車市場への電磁波対策の部品を軸としたソリューション製品提案や5G関連市場での事業拡大に注力していきたいと思っております。

# 通期連結営業利益の増減要因（今期予想 前期比）

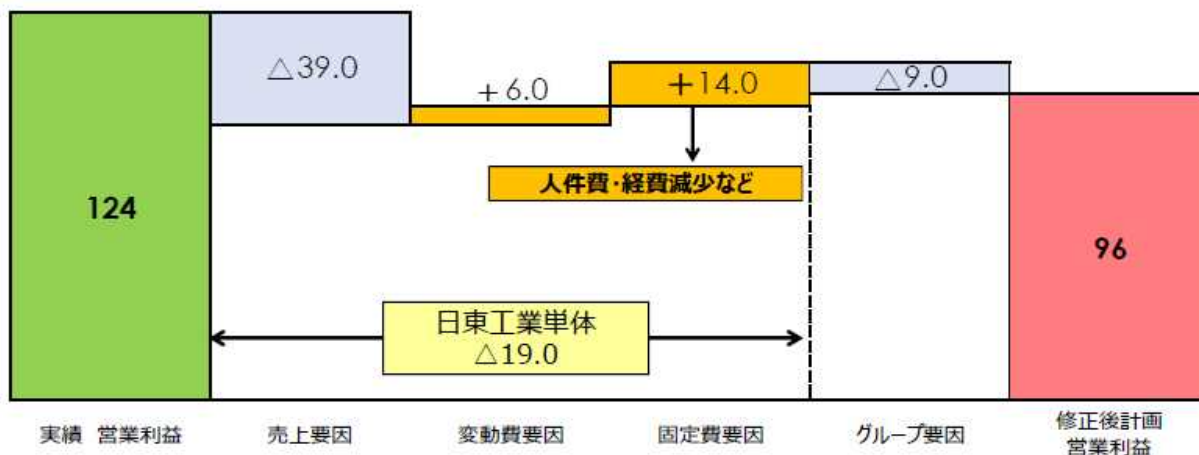
2021年3月期  
第2四半期

- 2021年3月期の連結営業利益は前期比22.6%減少の96億円を見込む
- 全体では、コロナ禍の影響による売上減少が利益の押し下げ要因となる
- 日東工業単体では、品群構成の変化（変動費要因）や残業時間の削減、展示会などへの出展自粛による固定費の減少が利益の押し上げ要因となる

（単位：億円）

【2020/3月期 実績】

【2021/3月期 修正後計画】



通期連結営業利益について、前期との比較になります。

2021年3月期の連結営業利益は、前期比22.6%減少の96億円を見込んでいます。全体では、コロナ禍の影響による売上減少が利益を押し下げています。

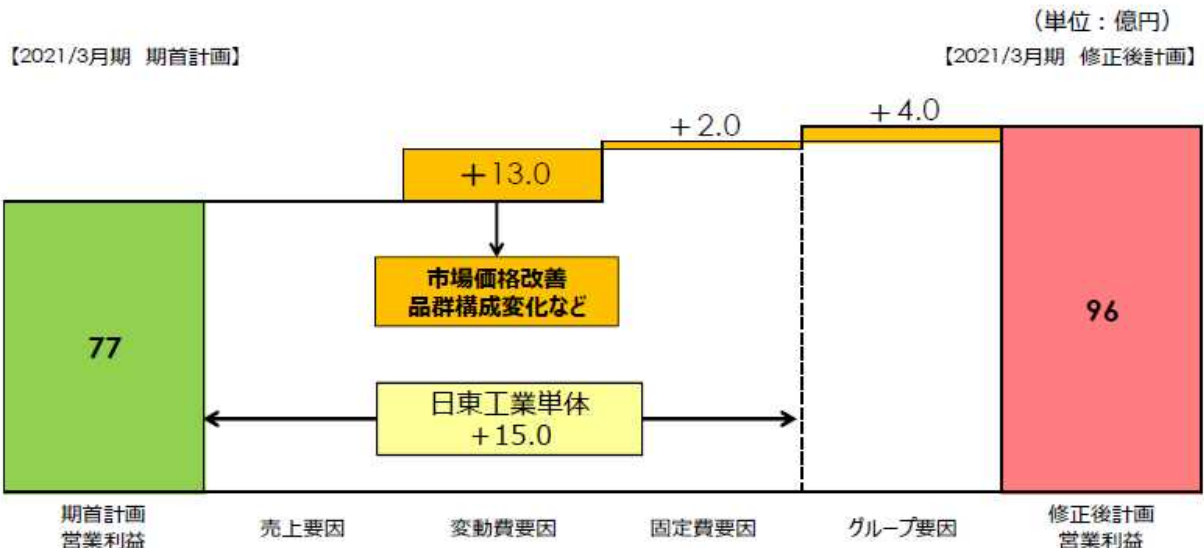
黄色の部分であります日東工業単体では、約19億円の減益を見込んでいます。内訳は、売上減少などでマイナス39億円、品群構成の変化、変動費の要因でございますけれども、プラス6億円。残業時間の削減、展示会などへの出展の自粛などによる固定費の減少でプラス14億円を見込んでおります。

グループ全体としても、コロナ禍の影響による売上減少により、マイナス9億円を想定しています。

# 通期連結営業利益の増減要因 (今期予想 期首計画比)

2021年3月期  
第2四半期

- 2021年3月期の連結営業利益を期首計画比24.7%増加の96億円へ上方修正
- 日東工業単体では、市場価格の下落（変動費要因）を想定していたものの前期末の水準を一定程度維持していることや、品群構成の変化が増益に寄与することにより期首計画を上回る見込み
- グループ要因では、主に情報通信関連流通事業の増益が全体の利益を押し上げ、期首計画を上回る見込み



こちらは、通期連結営業利益、期首計画との比較となります。

2021年3月期の連結営業利益を期首計画比でいきますと、24.7%増加の96億円に上方修正しております。

日東工業単体では、市場価格の下落を想定したものの、前期末の水準を一定程度維持していることと、品群構成の変化がプラスに寄与したことによりまして、期首計画よりも約15億円の増益を見込んでおります。

グループ要因では、主に情報通信関連流通事業の増益が全体の利益を押し上げ、期首計画より約4億円の増益を見込んでいます。

# 通期連結営業利益の増減要因傾向

2021年3月期  
第2四半期

## <日東工業単体>

- ・売上要因 売上増加が続いていたが、2021年3月期はコロナ禍の影響により売上減少に転じる見通し
- ・変動費要因 市場価格変動 …… 2021年3月期は僅少なながら改善する見通し
- ・固定費 経費 …… 展示会・内覧会の参加自粛などにより一時的に減少する見通し  
人件費 …… 売上減少に伴う残業時間の削減などにより一時的に減少する見通し

## <グループ要因>

- ・2021年3月期は、プラスマイナスあるもののグループ全体としてはコロナ禍の影響から売上減少により減益の見通し

(単位：億円)

| ↑: 押上げ要因 ↓: 押下げ要因 |        | 2019/3 実績 | 2020/3 実績 | 2021/3 計画 |   |
|-------------------|--------|-----------|-----------|-----------|---|
| 営業利益              |        | 64        | 124       | 96        |   |
| 前期比増減額            |        | +7        | +60       | △28       |   |
| 増減要因              | 日東工業単体 | 売上要因      | ↑         | ↑         | ↓ |
|                   |        | 変動費要因     | ↑         | ↑         | ↑ |
|                   |        | 固定費要因     | ↓         | ↓         | ↑ |
|                   | グループ要因 | ↓         | ↑         | ↓         |   |

**NTO** 日東工業株式会社

26

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

通期連結営業利益の増減要因でございます。

表の2021年3月期計画の矢印が示すとおりですが、減益要因としては日東工業単体、グループ会社の売上減少を見ています。

増益要因といたしましては、市場価格の改善、固定費、経費、人件費の減少と考えております。

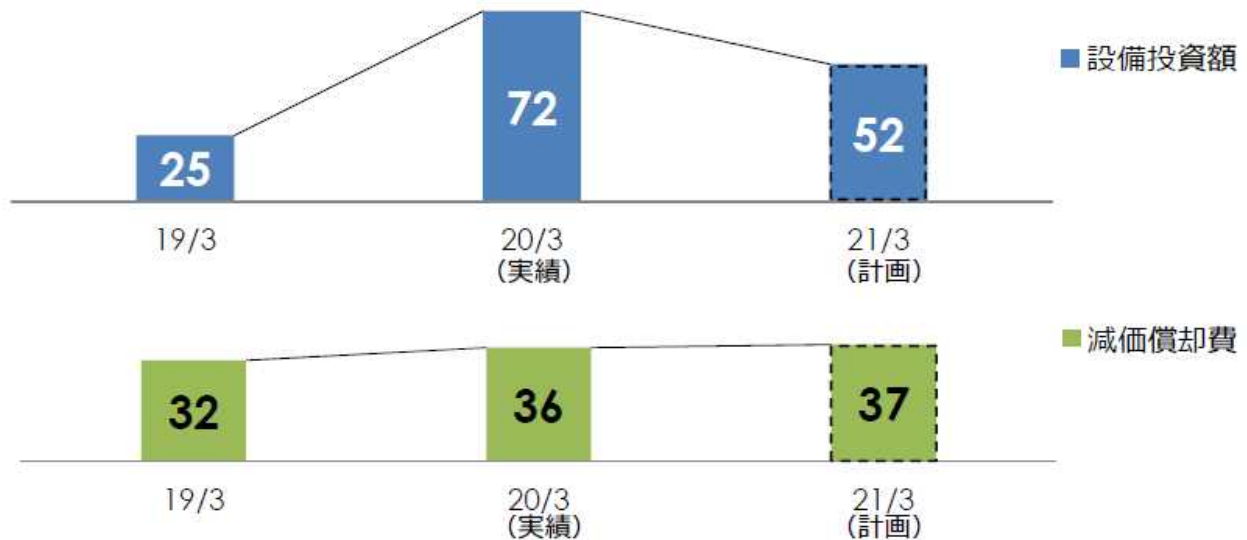


# 設備投資額、減価償却費

2021年3月期  
第2四半期

- 2020年3月期は日東工業単体の新工場用地取得等により、設備投資額が増加
- 2021年3月期は、設備投資額52億円、減価償却費37億円を計画

(単位：億円)



※1千万円単位を四捨五入しています

続きまして、連結の設備投資額および減価償却費でございます。

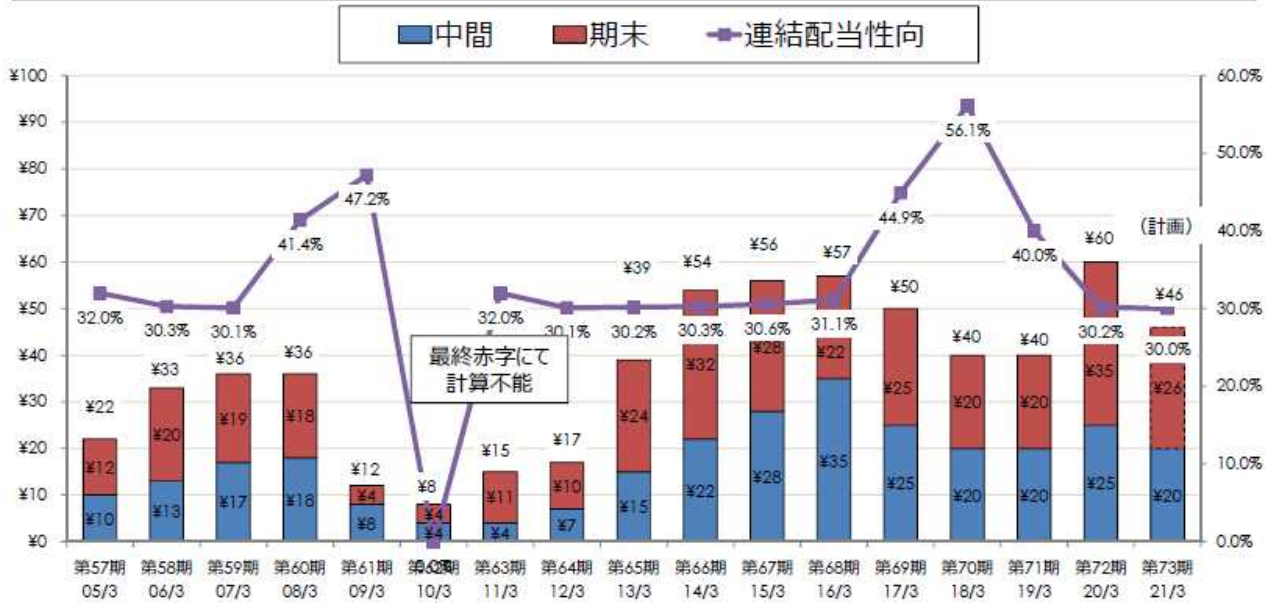
2020年3月期は、日東工業単体の新工場用地取得などにより設備投資額が増加しており、72億円になります。

2021年3月期に関しましては、設備投資額52億円、減価償却費は37億円を計画しております。

# 配当の状況

2021年3月期  
第2四半期

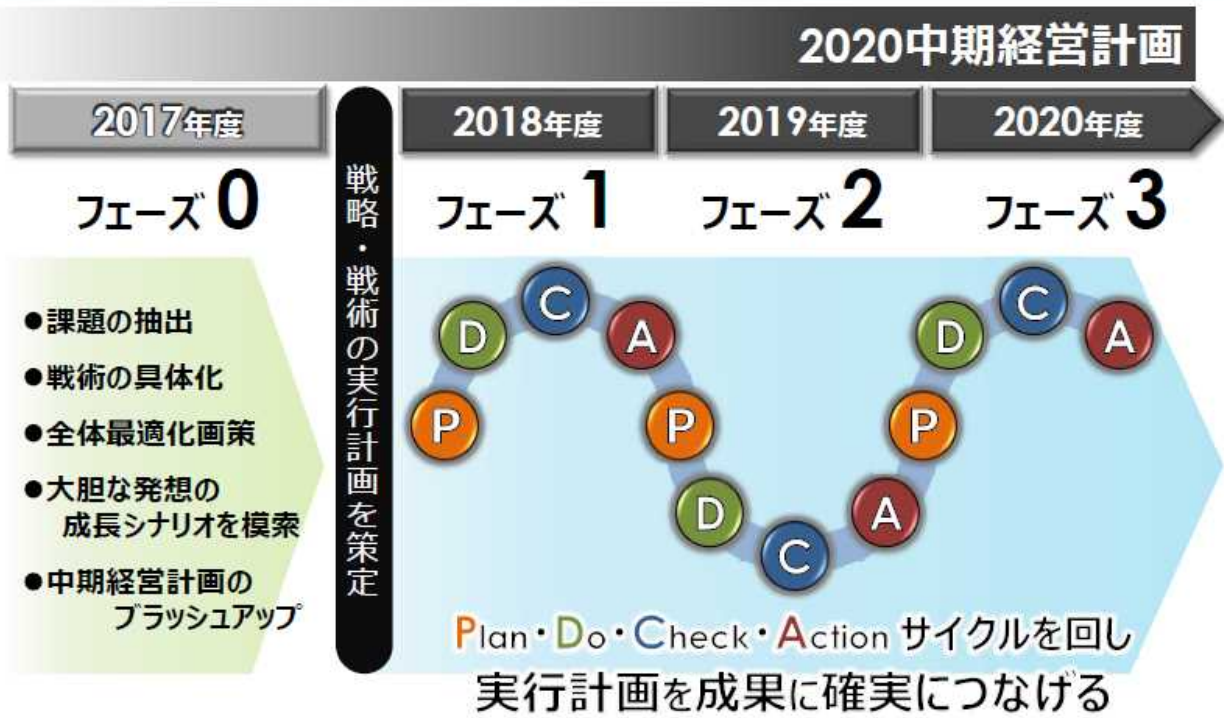
- 中間配当金は20円
- 通期配当金予想を40円→46円に増額
- 業績予想の上方修正を行ったことにより配当予想も引き上げ



配当の状況となります。

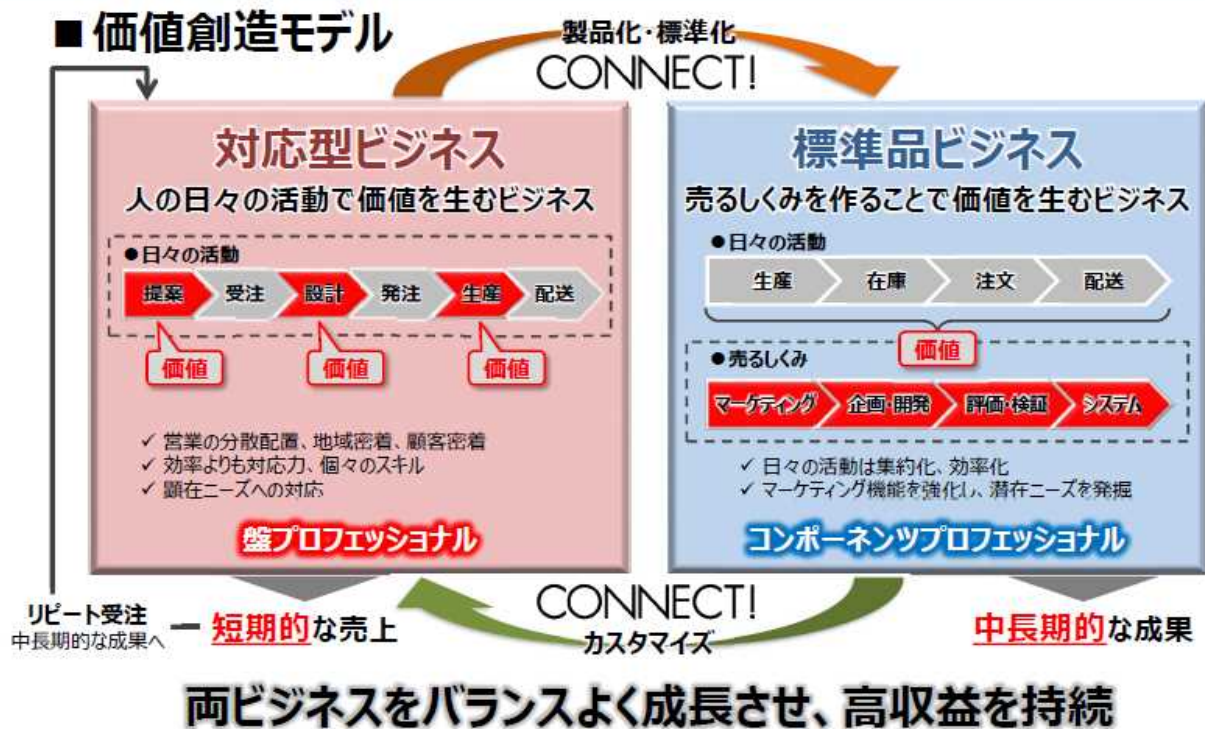
日東工業は、株主への安定的な配当を維持するため、配当性向 30%をベースに、純資産配当率等を勘案する配当方針としています。

2020年3月期の通期配当は60円で、配当性向は30.2%となり、4期ぶりの増配となりました。2021年3月期の中間配当金は20円、通期配当金予想を業績予想の上方修正により40円から46円に増額しております。



2020 中期経営計画に関してでございます。

2020 中期経営計画に関しましては、4 年の計画で、2021 年 3 月期、今期は最終年度、フェーズ 3 となります。



日東工業の価値創造モデルは、対応型ビジネスと標準品ビジネスをバランスよく成長させ、高収益を持続するというございます。

少し詳しくお話をさせていただきます。一品一品、お客様のご要望に基づいて設計、生産を行う、左側に記載の対応型ビジネス、こちらは大変手間がかかります。ただし、受注することで、お客様の要求仕様の変化、傾向、そしてリピート性を知ることができます。

その対応型ビジネスで得ました情報から標準化することで、利便性や収益性が非常に向上させられる製品を、右側にございます標準品として開発をいたします。その標準品に関しましては、大量生産することでコストを抑えることもできます。

また、標準品は、カタログなどの販売システムや、強固な販売ネットワークに乗せ拡販することや、対応型ビジネスに組み込まれることで、対応型ビジネスの製品のコストを抑えることもできます。このループを回し続けることが当社の強みであり、成長の源泉となっております。

|      | 戦略テーマ                            | ビジョン   |
|------|----------------------------------|--|
| 事業戦略 | 1. コア事業競争力の追求（技術力、製品提案力強化）       |  |
|      | I 対応型ビジネス<br>〔盤プロフェッショナル〕        | 盤関連事業の対応力をきわめ、<br>頼られるベストパートナーを目指す               |
|      | II 標準品ビジネス<br>〔コンポーネントプロフェッショナル〕 | 産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる                           |
|      | 2. グローバル化（東南アジアにおける配電盤事業の確立）     |  |
|      | III 海外事業                         | 海外で活躍する産業インフラ関連企業に<br>喜びを与える企業になる                |
|      | 3. 新規ビジネスの展開（新たな技術・企業との融合）       |  |
| 基盤強化 | IV 新規事業                          | 失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する                              |
|      | 4. 生産体制・経営基盤の強化                  |  |
|      | V 生産体制強化                         | お客様に喜んでいただける、品質・コスト・スピードの実現を目指し<br>改善・改革にチャレンジする |
|      | VI 経営管理基盤強化                      | 日東工業グループの事業戦略を支える<br>経営管理基盤を確立する                 |

2020 中期経営計画の戦略テーマとなっております。

大きく、事業戦略と基盤強化に分け、事業戦略は四つの戦略テーマと、基盤強化は二つのテーマで計画を立案しています。

まず、コア事業競争力の追求として、先ほどお話ししました、対応型ビジネスと標準品ビジネスのループを回し続けることをやっております。

また、グローバル化は、日本で高く評価されています日東工業グループの強みである配電盤関連製造事業、それと、販売システムを東南アジアなどの海外に移植することで、企業価値を高め、海外のインフラ関連企業に品質、納期、価格で喜んでいただくことを目指しております。

新規事業の創出にもチャレンジしています。当グループを取り巻く環境は、新規事業は生まれにくい状況ではございますが、AI、IoT、5G など、新たな環境に対応したビジネスにも挑戦していきます。

基盤強化である生産体制強化や経営管理基盤強化は、メーカーとして、また、商社としてやるべきことを当たり前に行えるような風土をつくり、全体の効率を向上させ、利益に貢献したいと考えております。

# 2020中期経営計画 業績目標

2021年3月期  
第2四半期

(単位：億円)

|                | 2016年度<br>実績<br>(計画策定時) | 2019年度<br>実績 | 2020年度<br>計画 | 2020年度<br>目標<br>(計画策定時) |
|----------------|-------------------------|--------------|--------------|-------------------------|
| <b>連結売上</b>    | <b>1,066</b>            | <b>1,394</b> | <b>1,320</b> | <b>1,250</b>            |
| (内 単体売上)       | 674                     | 796          | 715          | 750                     |
| 対応型ビジネス        | 465.5                   | 551.5        | 485.0        | 470.0                   |
| 標準品ビジネス        | 207.0                   | 243.2        | 227.0        | 240.0                   |
| 新規事業           | 1.5                     | 1.3          | 3.0          | 40.0                    |
| (内 情報通信関連流通事業) | (305)                   | (407)        | (474)        | (350)                   |
| (内 海外事業)       | (40)                    | (94)         | (96)         | (70)                    |
| <b>連結営業利益</b>  | <b>65</b>               | <b>124</b>   | <b>96</b>    | <b>100</b>              |
| (内 単体営業利益)     | 50                      | 94           | 75           | 75                      |

- ・2019年度に中期経営計画の当初目標を達成（※「新規事業」を除く）
- ・2020年10月26日、2020年度計画を上方修正
- ・2020年度計画は、当第3四半期以降、経済活動の停滞が横ばいで推移することを前提とし試算

2020 中期経営計画の業績目標となっております。

当初計画では、最終年度の連結売上は 1,250 億円、連結営業利益は 100 億円、また、日東工業単体といたしまして、売上は 750 億円、営業利益は 75 億円を目標にしていました。連結、単体ともに 2019 年度には新規事業を除き、当初の目標を達成しております。

2020 年度の計画は、新型コロナウイルス感染症の影響で、連結売上高は前年より減少を予想していますが、当初の中期の売上目標は達成する計画といたしました。

ただし、連結営業利益は、日東工業グループ全体の売上減少などにより達成困難な状況で、未達成の計画としております。

# 事業戦略の進捗状況 (1/7)

2021年3月期  
第2四半期



**NITO** 日東工業株式会社

34

本書からの無断転載は固くお断りいたします。

事業戦略の進捗状況でございます。

2019 年度は、対応型ビジネスと標準品ビジネスをさらに強化するため、新工場用地を愛知県瀬戸市と栃木県野木町に購入いたしました。

また、パナソニックとの協業でございますが、パナソニックの一部ブレーカーの生産を日東工業グループで開始をしております。

2020 年度には、放電火災を未然に防ぐ放電検出ユニットを新発売しております。日本の火災全体の発生件数は減少でございますが、電気火災はほぼ横ばい、毎年 1,000 件を超えており、火災全体の約 30%を占めています。電気火災の約 40%は、火花放電による火災と言われております。ご自宅の分電盤に、われわれが開発いたしました放電検出ユニットを取り付けることで、家中のトラッキング、ケーブル断線、ショートなどで発生する火花放電を検出し、電気火災を未然に防ぐことができるものでございます。

2019 年度の JECA FAIR において、経済産業大臣賞を受賞し、現在では国宝である久能山東照宮にも採用されております。各方面より高い評価を受けている商品でございます。

グローバル関係は、ベトナムの SOECO 社を子会社化し、情報通信関連流通事業のグローバル化を強化しております。また、タイでは工場建設を行うなど、生産拠点の拡充も進めています。

当社グループは、電気や情報を明日につなげる価値創造企業として、着実に成長しております。

# 事業戦略の進捗状況 (2/7)

2021年3月期  
第2四半期

## <今期の重点戦略>

| コア事業 / I 対応型ビジネス  | コア事業 / II 標準品ビジネス  |
|---|--|
| <p>グループ会社連携による案件対応力を強化<br/>それぞれの強みを生かした対応領域拡大と受注強化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・リニューアル事業戦略の進展</li><li>・制御盤事業戦略の進展</li></ul>                     | <p>技術力・製品提案力の強化<br/>盤関連市場でお客様のニーズに合わせた製品・サービスを提供することで競争力を強化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・WEBツール（Q B 自動作図システム）リリース</li><li>・風雨性能新規格の浸透と対応商品拡大</li></ul> |
| III 海外事業  | IV 新規事業  |
| <p>東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大<br/>事業基盤を早期に確立</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・NBT新工場での製販一貫体制を確立し、タイ市場での事業拡大及び収益力強化</li><li>・インフラ産業市場への参入によるビジネス拡大</li></ul> | <p>「コト価値」の創造による事業領域の拡大<br/>中長期での事業化を目指し「コト価値」創造の取組にチャレンジを続ける</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感震、EV充電器などの実証実験の進展</li><li>・スタートアップ企業への出資</li></ul>          |

こちらは重点戦略です。後ほどご覧ください。



## 事業戦略

## コア事業/ I 対応型ビジネス [盤プロフェッショナル]

**ビジョン：盤関連事業の対応力をきわめ、頼られるベストパートナーを目指す**

| 盤関連市場の事業力競争力強化 |   |
|----------------|---|
| フェーズ<br>0~2    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グループ会社の得意領域・ノウハウを活かした戦略を策定</li> <li>◆ グループ会社の得意領域を生かした案件受注</li> <li>◆ 具体的な戦略を実践することで事業領域拡大</li> </ul>  |
| フェーズ3<br>今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グループ全体で戦略を実行し、対応力強化、対応領域を拡大する</li> <li>・ 新愛知の切替技術を生かした、住宅用蓄電システム向け電源切替盤の拡販</li> <li>・ G I G Aスクール、テレワークの対応商材の拡販</li> <li>◆ リニューアル事業戦略はコロナウィルスにより活動を自粛していたが、活動再開</li> </ul> |



**自動電源切替盤**  
(家庭用太陽電池・蓄電池設備連携)



**HUB収納キャビネット**  
(GIGAスクール構想・テレワーク対応)

コア事業の対応型ビジネスでございます。こちら、今期は新型コロナウイルス感染症の影響で新規の需要は減少すると考えていますが、グループ企業の新愛知電機製作所の高い技術力、および大洋電機製作所の制御技術力、および日東工業の生産力を融合させ、他社ではまねのできない差別化できる案件に注力してまいります。

具体的な商品といたしましては、非常用電源や蓄電池への切り替えができる住宅用分電盤などです。

さらには、新規案件にとどまらず、リニューアル市場へも積極的に攻勢をかけ、受注確保につなげてまいりたいと考えております。

## 事業戦略

## コア事業/Ⅱ 標準品ビジネス① [コンポーネントプロフェッショナル]

### ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

| 盤関連市場の事業力競争力強化 |   |
|----------------|---|
| フェーズ<br>0～2    | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ECADソリューションズ設立</li> <li>◆ パナソニックとの協業検討開始</li> <li>◆ ECAD-キャピスタ連携開始</li> <li>◆ パナソニックの一部ブレーカ生産開始</li> <li>◆ ホーム分電盤モデルチェンジ</li> <li>◆ 瀬戸市に新工場用地を取得</li> </ul>  |
| フェーズ3<br>今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ パナソニックとの協業の進展を検討</li> <li>◆ WEBを活用した利便性の向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECAD-キャピスタ連携システムにユーザーの利便性を取り入れたバージョンアップ</li> <li>・ 高圧受電設備の図面作成システム「QBSTA」リリース</li> </ul> </li> </ul> |

【瀬戸工場概要※予定】

所在地：愛知県瀬戸市八床町22番の4  
 敷地面積：250,077㎡  
 延床面積：工場棟36,000㎡ 事務棟3階建て4,000㎡  
 生産品目：キャビネット・高圧受電設備・分電盤  
 ブレーカなど  
 投資総額：約200億円  
 資金計画：自己資金及び借入金等により充当  
 日程：建物竣工 2023年12月  
 生産開始 2024年 4月



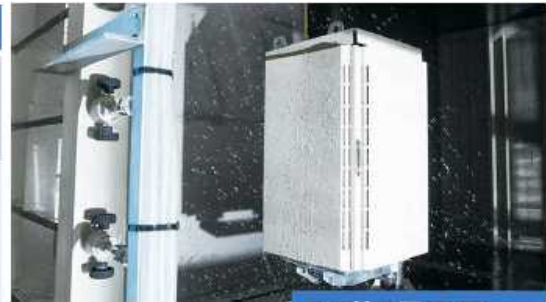
もう一つのコア事業である標準品ビジネスでは、キュービクルの自動作図システムが完成し、短納期案件を確実に受注することや GIGA スクール案件で使われているキャビネットなど、情報通信関連分野に対して拡販をしてみたいと思っています。

## 事業戦略

## コア事業/Ⅱ 標準品ビジネス② [コンポーネントプロフェッショナル]

ビジョン：産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

|                | 技術力・製品提案力の強化   |
|----------------|--|
| フェーズ0～2        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「風雨・耐震試験棟」本格稼働</li> <li>◆北川工業新EMCセンター完成</li> <li>◆放電検出ユニット開発</li> </ul>  |
| フェーズ3<br>今後の展開 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆風雨性能新規格の浸透と対応商品拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外キャビネットの風雨性能評価を実施し、対応商品にWP表示を追加</li> </ul> </li> <li>◆放電検出ユニット「スパークテクト」商品化</li> </ul> |



風雨性能評価試験  
(菊川ラボラトリー)



放電検出ユニット

**Spartect**



標準品ビジネスでは、先ほどお話ししました火災対策製品であるスパークテクト以外にも、ゲリラ豪雨に耐える、耐風雨キャビネットも開発しております。

写真は、風速 60 メートル、雨量 300 ミリを一緒に加えることができる試験装置でございます。業界初の設備となります。この設備により、さらに雨、風に耐える信頼性の高いキャビネットをご提供したいと考えております。

## 事業戦略 III 海外事業

ビジョン：海外で活躍する産業インフラ関連企業に喜びを与える企業になる

| 東南アジア地域での配電盤ビジネス拡大 |  |
|--------------------|--|
| フェーズ<br>0~2        | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ NITTO KOGYO BM (THAILAND) 設立 (NBT社)</li> <li>◆ 北川工業の子会社化</li> <li>◆ NBT社タイに新工場の建設着手</li> <li>◆ サンテレホン ベトナムSOECOを子会社化</li> </ul> |
| フェーズ3<br>今後の展開     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ NBT工場稼働</li> <li>・ 製販一貫体制を確立し、「コスト競争力」「納期対応力」「品質」をより高め、事業拡大および収益力強化を図る</li> </ul>   |



海外事業は、タイの新工場が稼働することで、コストと納期対応力が備わり、また、日本の品質と併せて、現地のニーズに対応した製品を市場に送り込み、売上拡大、収益性向上を目指しています。

シンガポールにおいても、収益性の高い案件の受注およびコスト低減により、成長させていきたいと考えております。また、インフラ関連商材の参入も視野に入れ、マーケティング活動を強化してまいります。

## 事業戦略 IV 新規事業

ビジョン：失敗を恐れず、新ビジネス創出に挑戦する

| 「コト価値」の創造による事業領域の拡大 |   |
|---------------------|---|
| フェーズ<br>0~2         | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 普通充電器・高機能感震ブレーカーでIoTを活用した製品実証実験開始</li> <li>◆ スタートアップ企業「デジタルグリッド」への出資</li> <li>◆ スタートアップ企業「ノバルス」と資本業務提携</li> <li>◆ 家庭向けEV・PHV充電器Pit-C3発売</li> </ul> |
| フェーズ3<br>今後の展開      | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 実証実験の進展</li> <li>・ 現在取り組んでいるIoT関連やスタートアップ企業と協業している技術の事業化を目指す</li> </ul>  |



新規ビジネスでは、EV 充電スタンドや、感震ブレーカーの実証実験により蓄積されたノウハウに基づき、改良された製品を市場に投入していきます。

また、スタートアップ企業と連携を深め、新規事業にチャレンジし続けます。

そして、ただ今、次期中期経営計画に向けて調査も開始しております。

ご清聴ありがとうございました

**CONNECT!**

～電気と情報をつなぐ～

**NITO** 日東工業株式会社

証券コード：6651



最後になりますが、私ども日東工業グループは、お客様の未来に信頼と安心を届ける企業グループとして社会貢献を目指しております。そのため、モノづくり、ヒトづくり、ファンづくりに邁進し、新たな価値を創造し続け、社会にとって必要不可欠な存在になれるよう努力してまいります。これからの日東工業グループにご期待ください。

本日の説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

以上